



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月25日

上場会社名 株式会社 エスティック
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

定時株主総会開催予定日 2019年6月19日

配当支払開始予定日

2019年6月20日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年3月21日～2019年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,612	32.8	1,734	38.4	1,743	38.2	1,135	32.3
2018年3月期	4,981	20.4	1,253	37.0	1,261	35.6	858	43.4

(注) 包括利益 2019年3月期 1,108百万円 (24.6%) 2018年3月期 890百万円 (51.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	417.70		19.6	25.0	26.2
2018年3月期	315.73		17.3	21.4	25.2

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 7百万円 2018年3月期 23百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	7,580	6,294	82.7	2,304.89
2018年3月期	6,390	5,362	83.7	1,965.96

(参考) 自己資本 2019年3月期 6,267百万円 2018年3月期 5,345百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	679	239	177	1,429
2018年3月期	619	60	130	1,167

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		65.00	65.00	176	20.6	3.6
2019年3月期		0.00		86.00	86.00	233	20.6	4.0
2020年3月期(予想)		0.00		94.00	94.00		20.5	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,088	19.4	988	2.5	1,001	3.3	697	5.2	256.34
通期	7,141	8.0	1,762	1.6	1,788	2.5	1,244	9.5	457.52

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	2,942,000 株	2018年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	222,970 株	2018年3月期	222,944 株
期中平均株式数	2019年3月期	2,719,040 株	2018年3月期	2,719,056 株

(参考)個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年3月21日～2019年3月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,321	37.6	1,676	62.8	1,688	64.1	1,108	55.0
2018年3月期	4,594	14.5	1,029	17.9	1,029	17.1	715	23.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	407.84	
2018年3月期	263.12	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	7,161		5,926		82.8		2,179.57	
2018年3月期	6,020		5,010		83.2		1,842.85	

(参考) 自己資本 2019年3月期 5,926百万円 2018年3月期 5,010百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2019年5月14日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

2019年3月期第2四半期決算短信より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経済環境

当連結会計年度における世界経済は、日本では雇用環境、個人消費、企業業績共に緩やかな回復基調が継続してまいりましたが、米中貿易摩擦によるファンダメンタルズの悪化懸念が設備投資に与える影響が警戒される状況となりつつあります。

米国では個人消費の増加や雇用情勢の改善、堅調な企業業績を背景に緩やかな拡大基調が継続しています。中国では米中貿易摩擦の影響が一部の生産、雇用調整に悪影響が出ており今後の景気減速が懸念されています。

このような経済環境のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況や当社製品の品種別の販売状況につきましては市場別に次のとおりとなっております。

② 国内市場

当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、通期を通して概ね好調な業績を背景に各社積極的な設備投資が継続しており、前年度に引き続き販売状況は堅調に推移してまいりました。

品種別販売状況ではハンドナットランナ、ナットランナ、ネジ締付装置の主要3品種の需要が拡大しており、前年業績及び当初の予想業績を大きく上回る結果となりました。

③ 米国市場

米国市場において市場環境は概ね堅調な状況で推移しておりますが、日系及び米系自動車メーカーで特定の販売先への依存度が高く、当該販売先で当初受注が見込まれていた大口案件の先送り等が影響し販売高は当初予想を下回る状況となりました。

④ 中国市場

米国との貿易摩擦懸念などにより一部産業界においては輸出の下振れリスクが強まる中、自動車産業界の設備投資については新規工場増設や生産設備の自動化が増加しており、当初予想を上回りハンドナットランナをはじめ、ナットランナ、ネジ締付装置の主要3品種ともに堅調に推移いたしました。

⑤ その他の市場

韓国市場では自動車産業界の一部で停滞していた設備投資が再開され、新規製造ラインの増加などによりナットランナの販売が大幅に拡大しました。

その他、タイ、カナダ、インドなどでナットランナやハンドナットランナの販売が堅調に推移しました。

その結果、当連結会計年度は、売上高6,612百万円(前期比32.8%増)、営業利益1,734百万円(前期比38.4%増)、経常利益1,743百万円(前期比38.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,135百万円(前期比32.3%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、7,580百万円と前連結会計年度末比1,190百万円の増加となりました。増加の主な内訳は、電子記録債権295百万円、仕掛品358百万円、原材料315百万円であります。

当連結会計年度末の負債は、1,285百万円と前連結会計年度末比257百万円の増加となりました。増加の主な内訳は、未払金51百万円、未払費用34百万円、未払法人税等147百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、6,294百万円と前連結会計年度末比932百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が958百万円増加したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,429百万円となり、前連結会計年度末に比べて262百万円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは679百万円の収入(前連結会計年度は619百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益1,668百万円の増加要因があった一方、売上債権の増加額86百万円、たな卸資産の増加額731百万円、法人税等の支払額396万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは239百万円の支出(前連結会計年度は60百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入71百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出71百万円、有形固定資産の取得による支出243百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは177百万円の支出(前連結会計年度は130百万円の支出)となりました。

これは、主に配当金の支払額176百万円などの減少要因があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	—	85.6	85.2	83.7	82.7
時価ベースの自己資本比率(%)	—	68.1	178.8	189.35	260.78
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額(自己株式を除く)／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、連結ベースの財務数値により算出しております。なお、2016年3月期が連結初年度であるため2015年3月期以前の数値は記載しておりません。

2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しています。

3 キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4 「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」、「インタレスト・カバレッジ・レシオ」について、有利子負債及び利払いが無い場合、「—」で表記しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内市場では米中貿易摩擦の今後の展開によって景気減速懸念は捨てきれませんが、基本的には緩やかながらも景気回復傾向で推移するものと推測しております。自動車産業においても前年程の勢いは無いものの引き続き積極的な設備投資が継続するものと見込んでおり、ハンドナットランナを中心に更なる売上拡大を見込んでおります。

米国市場では中国やメキシコなど他国との貿易摩擦等の懸念材料があるものの引き続き緩やかな景気回復傾向で推移するものと推測しており、当社米国現地法人の人員増強に加え、新たにミシガン州に米国において2拠点目となる販売拠点展開を予定しており、販売及び顧客サポート体制の強化により前年を上回る売上拡大を見込んでおります。

中国市場では景気減速傾向のなか、現地販売代理店と協力し顧客サポート体制の拡充によりハンドナットランナ及びサーボプレスの販売を強化してまいります。

品種別では前年に引き続きハンドナットランナの売上拡大を中心に前年を上回る売上を見込んでおります。

業績見通しにつきましては、売上高7,141百万円、営業利益1,762百万円、経常利益1,788百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,244百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株当たり83円00銭を予定しておりましたが、業績に鑑み株主の皆様の日頃のご支援にお応えすべく、1株当たり3円00銭増配の86円00銭にすることに決定いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年4月25日)公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

また、次期につきましては1株につき94円00銭の期末配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当連結会計年度 (2019年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,010	1,481,500
受取手形及び売掛金	1,673,204	1,458,779
電子記録債権	109,183	404,472
商品及び製品	319,769	375,220
仕掛品	390,301	749,066
原材料	634,033	949,512
繰延税金資産	140,795	155,020
未収消費税等	22,733	21,437
その他	49,605	81,780
貸倒引当金	△2,440	△2,120
流動資産合計	4,556,198	5,674,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	647,894	578,565
減価償却累計額	△233,771	△249,344
建物及び構築物(純額)	414,122	329,221
機械装置及び運搬具	22,030	26,738
減価償却累計額	△12,633	△13,691
機械装置及び運搬具(純額)	9,396	13,046
工具、器具及び備品	358,462	429,177
減価償却累計額	△284,240	△328,215
工具、器具及び備品(純額)	74,222	100,961
土地	830,106	830,106
リース資産	—	9,270
減価償却累計額	—	△1,133
リース資産(純額)	—	8,137
建設仮勘定	523	156,904
有形固定資産合計	1,328,372	1,438,377
無形固定資産		
ソフトウェア	25,321	23,135
その他	880	880
無形固定資産合計	26,201	24,015
投資その他の資産		
投資有価証券	107,291	88,207
関係会社出資金	223,003	215,204
繰延税金資産	20,011	35,992
保険積立金	116,539	88,467
その他	13,372	16,092
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	479,419	443,165
固定資産合計	1,833,993	1,905,558
資産合計	6,390,191	7,580,228

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当連結会計年度 (2019年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,594	240,569
未払金	130,320	182,271
未払費用	82,772	117,276
リース債務	—	1,854
未払法人税等	228,000	375,515
未払消費税等	187	—
賞与引当金	45,683	53,879
製品保証引当金	61,402	73,321
その他	3,564	13,464
流動負債合計	837,523	1,058,151
固定負債		
繰延税金負債	5,381	8,551
リース債務	—	6,386
退職給付に係る負債	184,451	210,891
その他	—	1,293
固定負債合計	189,832	227,122
負債合計	1,027,355	1,285,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	4,307,968	5,266,965
自己株式	△218,235	△218,361
株主資本合計	5,286,482	6,245,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,261	19,678
為替換算調整勘定	22,807	2,029
その他の包括利益累計額合計	59,069	21,707
非支配株主持分	17,283	27,892
純資産合計	5,362,835	6,294,954
負債純資産合計	6,390,191	7,580,228

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)	当連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)
売上高	4,981,138	6,612,716
売上原価	2,804,128	3,712,415
売上総利益	2,177,009	2,900,301
販売費及び一般管理費	923,164	1,165,481
営業利益	1,253,845	1,734,820
営業外収益		
受取利息	206	182
受取配当金	1,715	2,341
持分法による投資利益	23,623	7,982
保険解約返戻金	—	1,628
その他	2,434	3,257
営業外収益合計	27,980	15,392
営業外費用		
為替差損	19,115	6,359
固定資産売却損	1,343	243
その他	44	44
営業外費用合計	20,503	6,647
経常利益	1,261,322	1,743,565
特別損失		
固定資産除却損	—	75,422
特別損失合計	—	75,422
税金等調整前当期純利益	1,261,322	1,668,142
法人税、住民税及び事業税	425,878	541,202
法人税等調整額	△33,997	△19,729
法人税等合計	391,881	521,473
当期純利益	869,441	1,146,669
非支配株主に帰属する当期純利益	10,955	10,933
親会社株主に帰属する当期純利益	858,485	1,135,735

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)	当連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)
当期純利益	869,441	1,146,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,991	△16,583
為替換算調整勘定	△1,224	△5,321
持分法適用会社に対する持分相当額	7,146	△15,781
その他の包括利益合計	20,912	△37,686
包括利益	890,354	1,108,983
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	878,387	1,098,373
非支配株主に係る包括利益	11,966	10,609

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	3,579,997	△218,235	4,558,511
当期変動額					
剰余金の配当			△130,514		△130,514
親会社株主に帰属する 当期純利益			858,485		858,485
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	727,971	—	727,971
当期末残高	557,000	639,750	4,307,968	△218,235	5,286,482

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	21,270	17,897	39,167	5,316	4,602,996
当期変動額					
剰余金の配当					△130,514
親会社株主に帰属する 当期純利益					858,485
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	14,991	4,910	19,901	11,966	31,868
当期変動額合計	14,991	4,910	19,901	11,966	759,839
当期末残高	36,261	22,807	59,069	17,283	5,362,835

当連結会計年度(自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	557,000	639,750	4,307,968	△218,235	5,286,482
当期変動額					
剰余金の配当			△176,738		△176,738
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,135,735		1,135,735
自己株式の取得				△125	△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	958,997	△125	958,871
当期末残高	557,000	639,750	5,266,965	△218,361	6,245,354

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	36,261	22,807	59,069	17,283	5,362,835
当期変動額					
剰余金の配当					△176,738
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,135,735
自己株式の取得					△125
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△16,583	△20,778	△37,362	10,609	△26,752
当期変動額合計	△16,583	△20,778	△37,362	10,609	932,118
当期末残高	19,678	2,029	21,707	27,892	6,294,954

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)	当連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,261,322	1,668,142
減価償却費	76,357	86,449
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,263	△319
受取利息及び受取配当金	△1,922	△2,523
為替差損益(△は益)	4,823	△3,279
持分法による投資損益(△は益)	△23,623	△7,982
保険解約返戻金	-	△1,628
固定資産売却損益(△は益)	1,343	243
固定資産除却損	-	75,422
売上債権の増減額(△は増加)	△147,151	△86,558
たな卸資産の増減額(△は増加)	△336,848	△731,131
仕入債務の増減額(△は減少)	135,801	△45,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,968	8,196
製品保証引当金の増減額(△は減少)	42,402	11,919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,868	26,440
未収消費税等の増減額(△は増加)	△22,733	1,296
その他	27,941	73,577
小計	1,039,284	1,073,237
利息及び配当金の受取額	1,922	2,523
法人税等の支払額	△421,804	△396,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	619,402	679,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△71,000	△71,000
定期預金の払戻による収入	71,000	71,000
有形固定資産の取得による支出	△53,054	△243,911
有形固定資産の売却による収入	3,191	773
有形固定資産の除却による支出	-	△11,000
無形固定資産の取得による支出	△4,770	△6,981
投資有価証券の取得による支出	△4,507	△4,818
保険積立金の解約による収入	-	29,924
その他	△1,140	△3,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,280	△239,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	-	△1,030
自己株式の取得による支出	-	△125
配当金の支払額	△130,446	△176,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,446	△177,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,323	985
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	421,350	262,493
現金及び現金同等物の期首残高	745,923	1,167,274
現金及び現金同等物の期末残高	1,167,274	1,429,767

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)	当連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)
1株当たり純資産額	1,965円96銭	2,304円89銭
1株当たり当期純利益金額	315円73銭	417円70銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年3月21日 至 2018年3月20日)	当連結会計年度 (自 2018年3月21日 至 2019年3月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	858,485	1,135,735
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	858,485	1,135,735
普通株式の期中平均株式数(株)	2,719,056	2,719,040

(重要な後発事象)

該当事項はありません。